

陣馬・相模湖方面の自然公園情報

日付：令和8年7月15日（水）

コース：篠原-石老山-顕鏡寺

天気：晴れ

気温：25℃（12時頃、石老山山頂）

●篠原集落から登山道入り口までの指導標識周りの草刈りをしました。登山道入口の標識は一段見上げた高さにありますのでご注意ください。



県道 518 号線沿いの指導標識



登山道入口の指導標識—黄線登山道、赤枠標識

●石老山の土壌は、礫岩を主体とする愛川層群石老山層の上に褐色森林土が堆積して形成されています。水はけがよく肥沃であると同時に、もろく大雨や地震の影響を受けやすい特徴があります。今回も注意したい箇所がありました。



顕鏡寺側標高約 640 メートル

左側が崩落し注意喚起のロープが設置されている。



顕鏡寺側標高約 570 メートル

雨天後などは特に慎重に。

●登山道顕鏡寺側には大きな岩がいくつもあります。岩陰のイワタバコの脇にはヤマドリとおぼしき羽根が散らばっていました。捕食された痕跡かもしれません。



イワタバコ

●葉の上に黒いアブがいました。在来種のコウカアブでしょうか。人を刺すことはない分解者です。ミミズの死骸にはアリとシデムシの仲間が群がっていました。



外来種のアメリカミズアブより触角が短い。

●行程全体を振り返ると、木陰や風の通る涼しい場所も多かったのにのどが渇き、水が足りなくなりました。この時期、十分な飲料水携行が重要です。



コナラの樹皮



コナラの葉陰